

# サービス産業活動図表集

2020年5月の第3次産業活動指数の状況

2020 年 7 月 13 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

## 2020年5月の第3次産業活動指数の状況

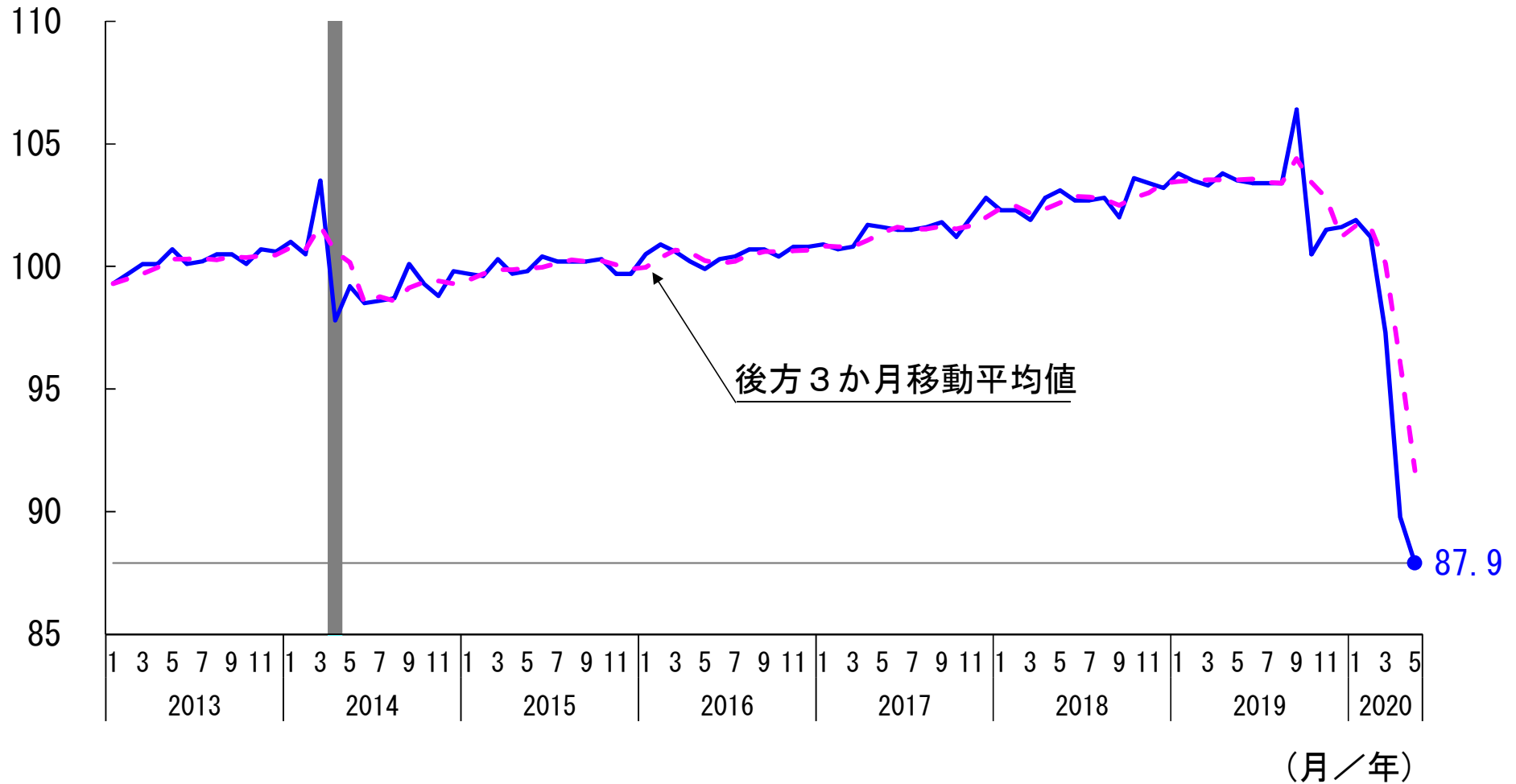
月次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	87.9	83.4	91.7
前月比	-2.1%	-0.6%	-3.9%
指数水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020.5                      87.9 ②2020.4                      89.8 ③2020.3                      97.3	①2020.5                      83.4 ②2020.4                      83.9 ③2020.3                      93.8	①2020.5                      91.7 ②2020.4                      95.4 ③2014.4                      97.3
前月比の動き	4か月連続— (2020.2～当月)	4か月連続— (2020.2～当月)	4か月連続— (2020.2～当月)
前月比幅	2020.4                      -7.7%以来	2020.4                      -10.6%以来	2020.4                      -5.4%以来
	①2020.4                      -7.7% ②2014.4, 2019.10                      -5.5% ③2020.3                      -3.9%	①2020.4                      -10.6% ②2019.10                      -6.7% ③2020.3                      -6.5%	①2014.4                      -6.9% ②2019.10                      -6.1% ③2020.4                      -5.4%
原指数	84.6	83.1	86.0
前年同月比	-15.9%	-18.9%	-12.9%
前年同月比の動き	8か月連続— (2019.10～当月)	8か月連続— (2019.10～当月)	8か月連続— (2019.10～当月)
前年同月比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020.5                      -15.9% ②2020.4                      -13.2% ③2020.3                      -5.4%	①2020.5                      -18.9% ②2020.4                      -18.1% ③2020.3                      -8.3%	①2020.5                      -12.9% ②2020.4                      -8.5% ③2014.11                      -4.1%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 第3次産業活動指数の動向

・ 2020年5月の第3次産業活動指数は、87.9(前月比-2.1%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

# 2020年5月

## 「第3次産業活動は、引き続き低落している」

### 基調判断の推移

- ・2015年1月～4月 「持ち直している」
- ・2015年5月～6月 「足踏みがみられる」
- ・2015年7月～9月 「横ばい傾向」
- ・2015年10月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2015年11月 「一進一退」
- ・2015年12月～2016年3月  
「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・2016年4月～10月 「一進一退」
- ・2016年11月～2017年4月 「横ばい」
- ・2017年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2017年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・2017年11月～2018年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2018年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・2018年4月～8月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・2018年10月～2019年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2019年3月～6月  
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」
- ・2019年7月 「高い水準で横ばい」
- ・2019年8月～9月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2019年10月～2020年1月 「足踏みがみられる」
- ・2020年2月 「足踏みのなかに弱さがみられる」
- ・2020年3月～4月 「急落している」
- ・**2020年5月～ 「引き続き低落している」**

(2015年1月より基調判断を実施)

(2015年=100、季節調整済)

		第3次産業 総合	
			前期比 (%)
2017年	Ⅱ期	101.6	0.8
	Ⅲ期	101.6	0.0
	Ⅳ期	102.0	0.4
2018年	Ⅰ期	102.2	0.2
	Ⅱ期	102.9	0.7
	Ⅲ期	102.5	-0.4
	Ⅳ期	103.4	0.9
2019年	Ⅰ期	103.5	0.1
	Ⅱ期	103.6	0.1
	Ⅲ期	104.4	0.8
	Ⅳ期	101.2	-3.1
2020年	Ⅰ期	100.1	-1.1

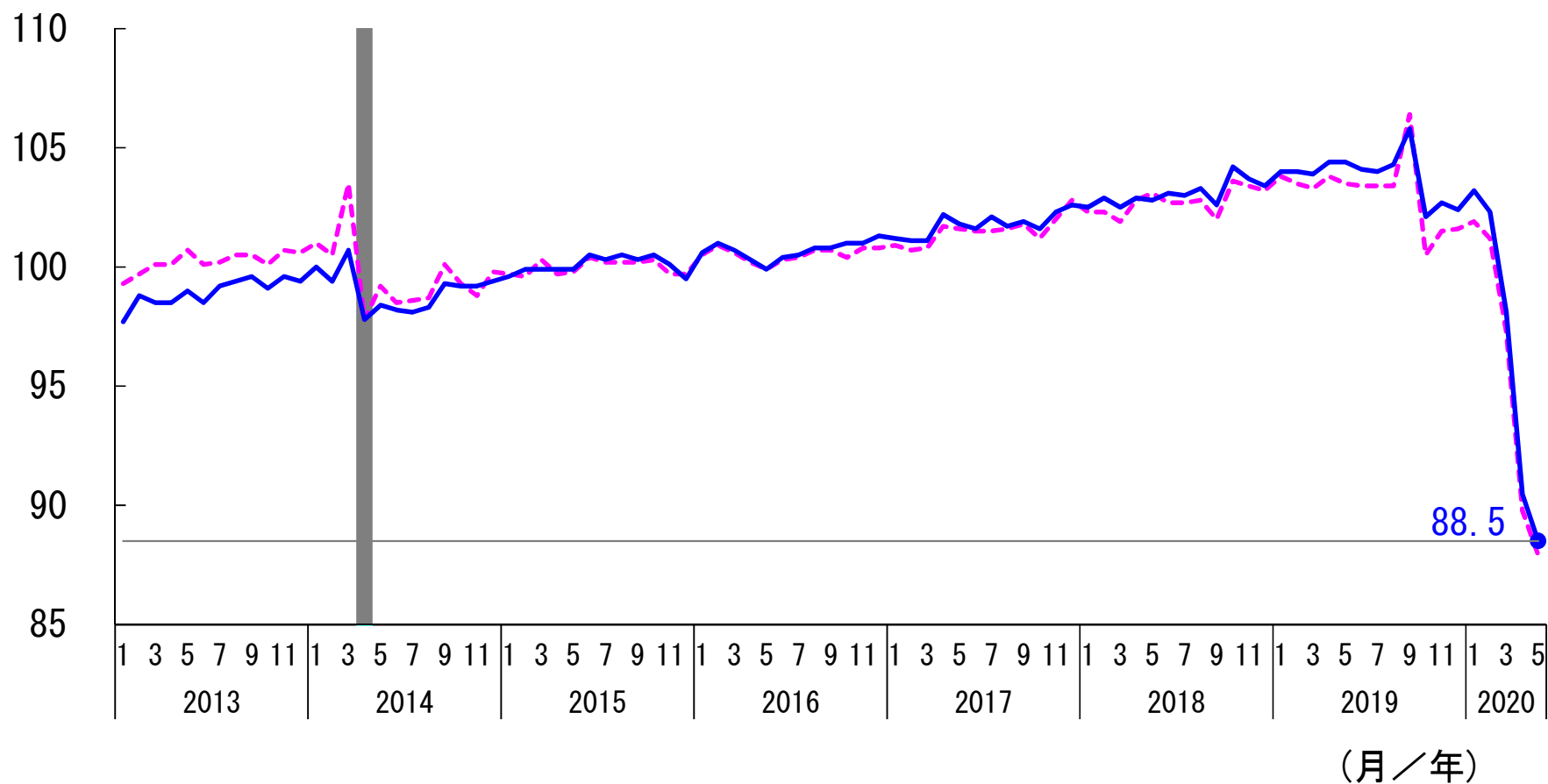
		第3次産業 総合		後方3か月 移動平均	
			前期比 (%)		前期比 (%)
2017年	6月	101.5	-0.1	101.6	0.2
	7月	101.5	0.0	101.5	-0.1
	8月	101.6	0.1	101.5	0.0
2018年	9月	101.8	0.2	101.6	0.1
	10月	101.2	-0.6	101.5	-0.1
	11月	102.0	0.8	101.7	0.2
	12月	102.8	0.8	102.0	0.3
2018年	1月	102.3	-0.5	102.4	0.4
	2月	102.3	0.0	102.5	0.1
	3月	101.9	-0.4	102.2	-0.3
	4月	102.8	0.9	102.3	0.1
	5月	103.1	0.3	102.6	0.3
	6月	102.7	-0.4	102.9	0.3
	7月	102.7	0.0	102.8	-0.1
	8月	102.8	0.1	102.7	-0.1
	9月	102.0	-0.8	102.5	-0.2
	10月	103.6	1.6	102.8	0.3
	11月	103.4	-0.2	103.0	0.2
	12月	103.2	-0.2	103.4	0.4
2019年	1月	103.8	0.6	103.5	0.1
	2月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	3月	103.3	-0.2	103.5	0.0
	4月	103.8	0.5	103.5	0.0
	5月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	6月	103.4	-0.1	103.6	0.1
	7月	103.4	0.0	103.4	-0.2
	8月	103.4	0.0	103.4	0.0
	9月	106.4	2.9	104.4	1.0
	10月	100.5	-5.5	103.4	-1.0
	11月	101.5	1.0	102.8	-0.6
	12月	101.6	0.1	101.2	-1.6
2020年	1月	101.9	0.3	101.7	0.5
	2月	101.2	-0.7	101.6	-0.1
	3月	97.3	-3.9	100.1	-1.5
	4月	89.8	-7.7	96.1	-4.0
	5月	87.9	-2.1	91.7	-4.6

# 卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

・ 2020年5月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、88.5(前月比-2.2%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合    — 除く卸売業、小売業

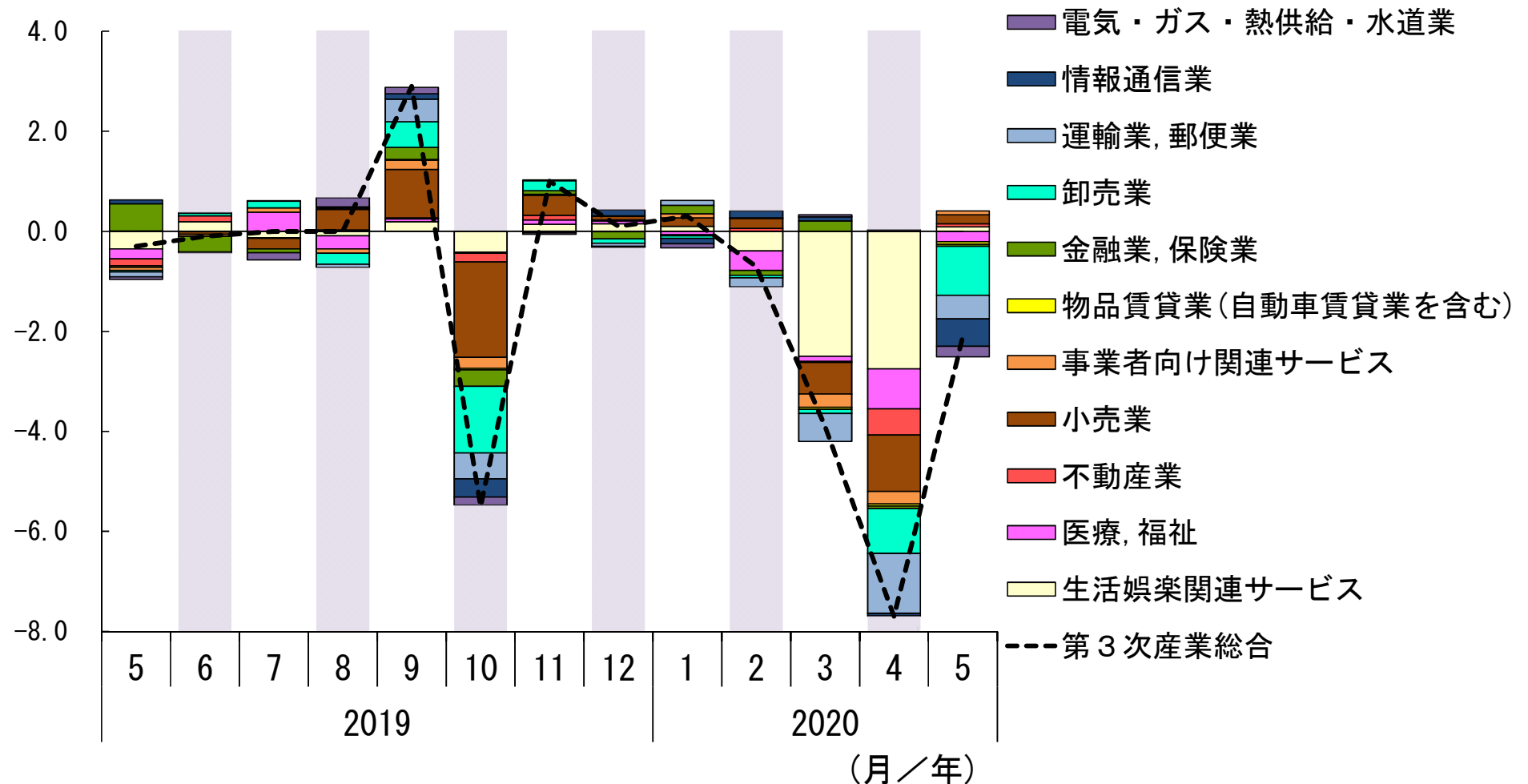


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

# 第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・2020年5月の第3次産業活動指数は、小売業などが上昇したものの、卸売業などが低下したため、前月比-2.1%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



## 第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

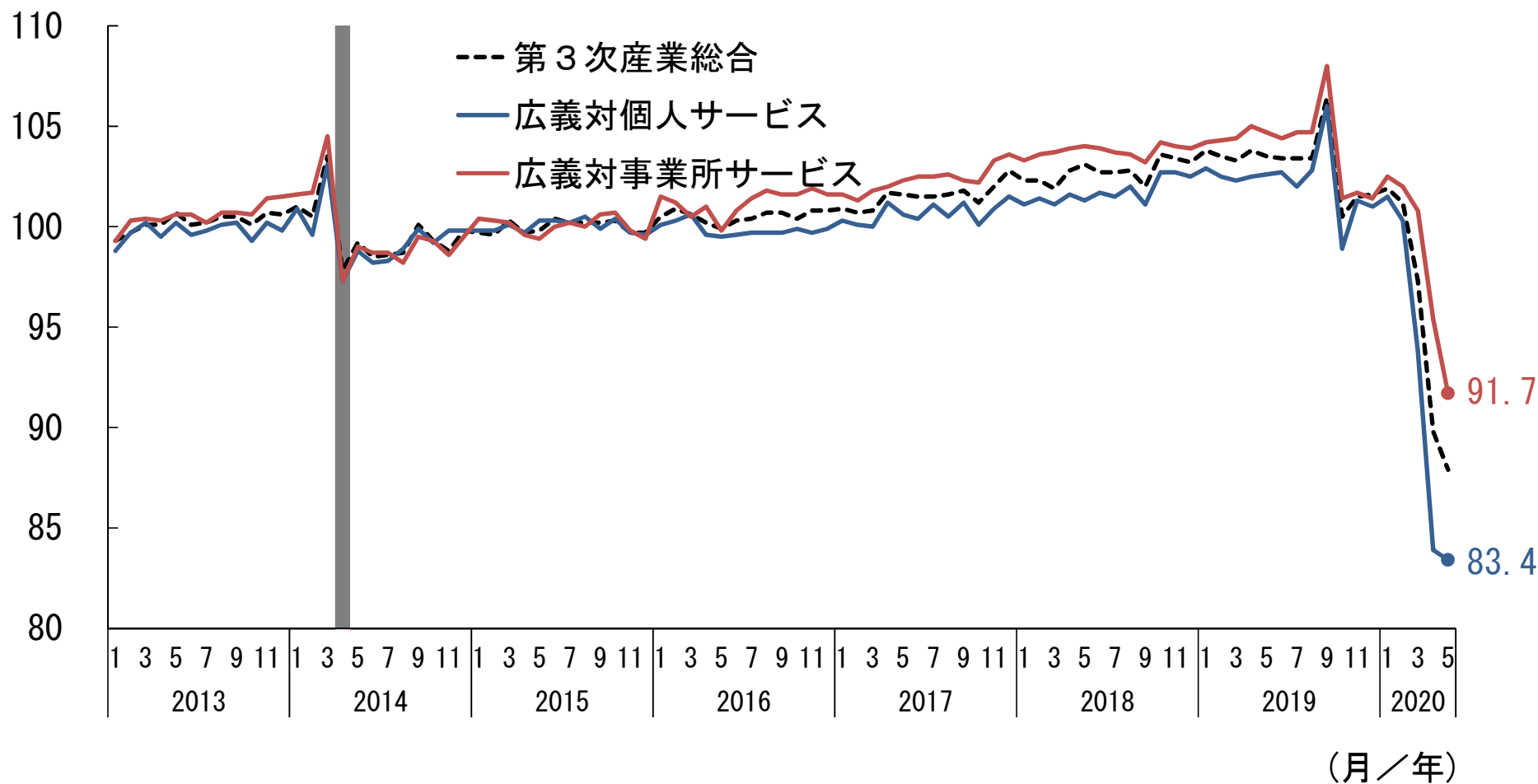
		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を <b>低下</b> 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	卸売業	- 7.3%	- 46.2%
	内訳業種	機械器具卸売業	- 8.8%	- 16.6%
		医薬品・化粧品等卸売業	- 14.0%	- 10.8%
	2位の業種	情報通信業	- 4.9%	- 25.9%
	内訳業種	情報サービス業	- 15.2%	- 37.7%
		映像・音声・文字情報制作業	- 4.2%	- 1.8%
3位の業種	運輸業, 郵便業	- 5.3%	- 22.4%	
内訳業種	貨物運送業	- 9.7%	- 22.1%	
	運輸に附帯するサービス業	- 9.8%	- 6.4%	
○ 第3次産業総合を <b>上昇</b> 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	小売業	1.6%	8.7%
	内訳業種	織物・衣服・身の回り品小売業	38.9%	11.3%
		飲食料品小売業	1.8%	3.5%
	2位の業種	生活娯楽関連サービス	1.4%	4.1%
	内訳業種	洗濯・理容・美容・浴場業	32.5%	11.5%
		飲食店, 飲食サービス業	9.6%	8.6%
3位の業種	事業者向け関連サービス	0.8%	3.7%	
内訳業種	廃棄物処理業	7.2%	4.5%	

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

# 広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・ 2020年5月の広義対個人サービス活動指数は、83.4(前月比-0.6%)と4か月連続の低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、91.7(前月比-3.9%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



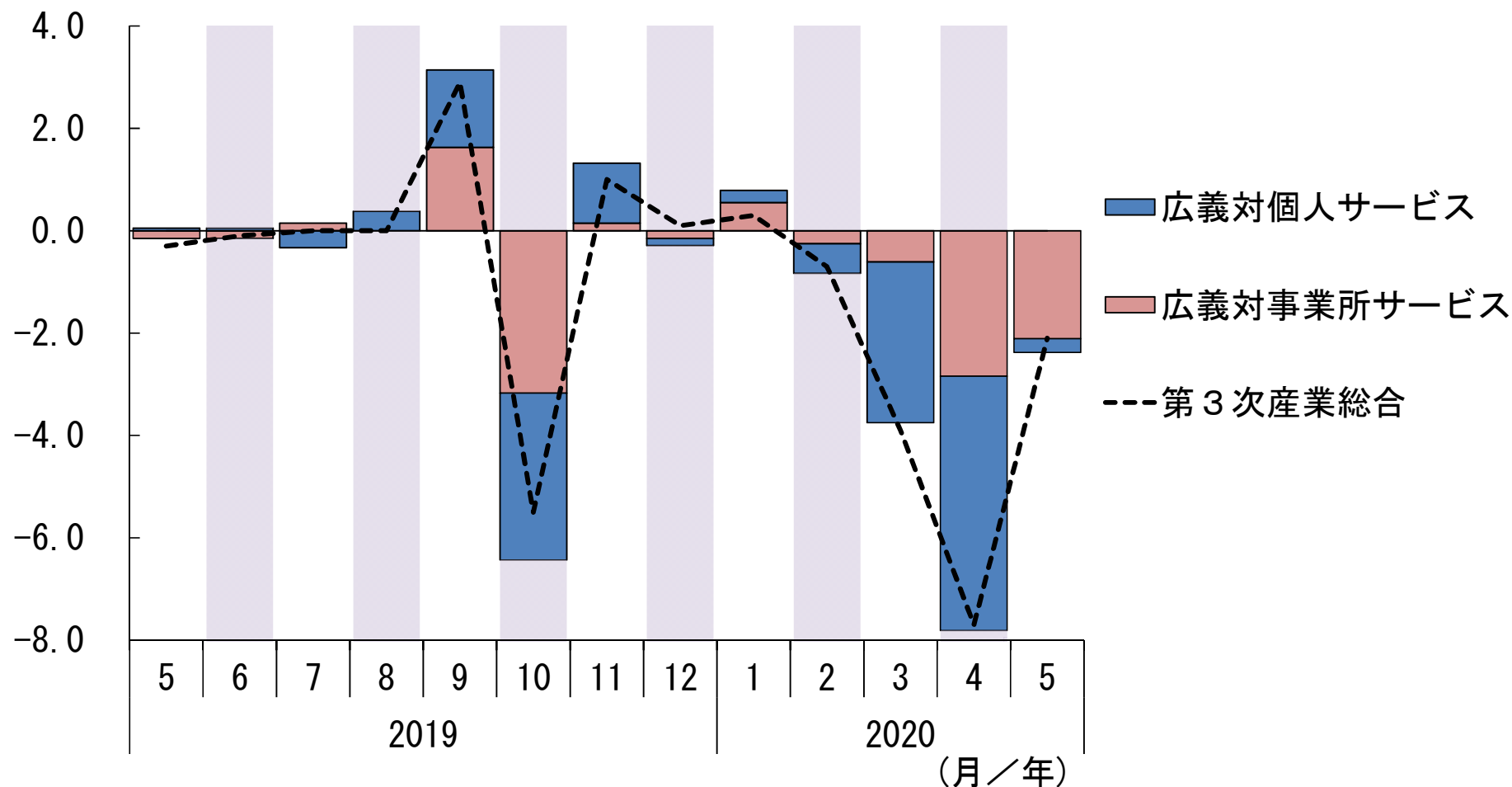
(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。



## 第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2020年5月の第3次産業活動指数は、前月比-2.1%の低下。広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに低下。

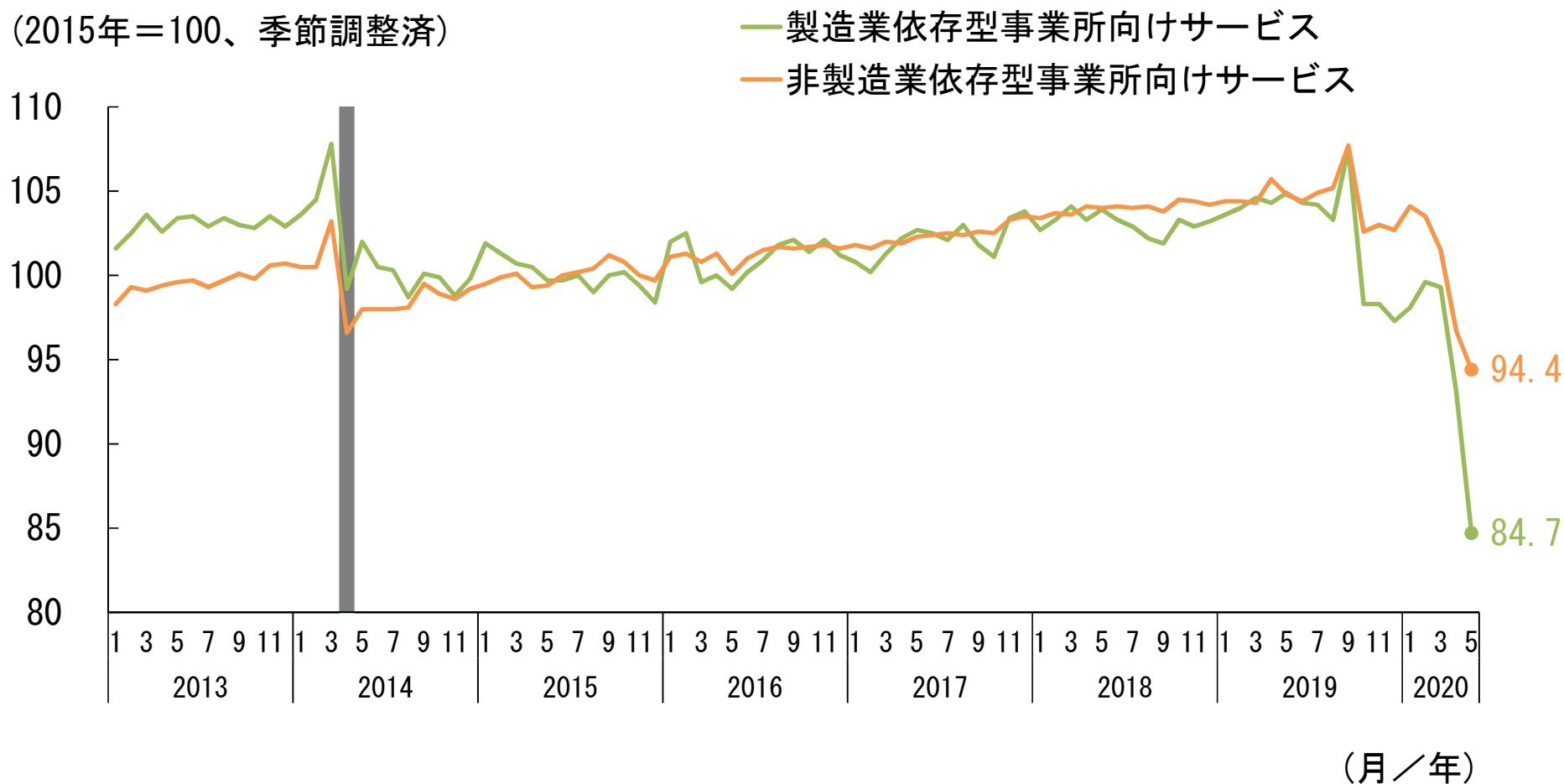
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、84.7(前月比-9.0%)と3か月連続の低下。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、94.4(前月比-2.4%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

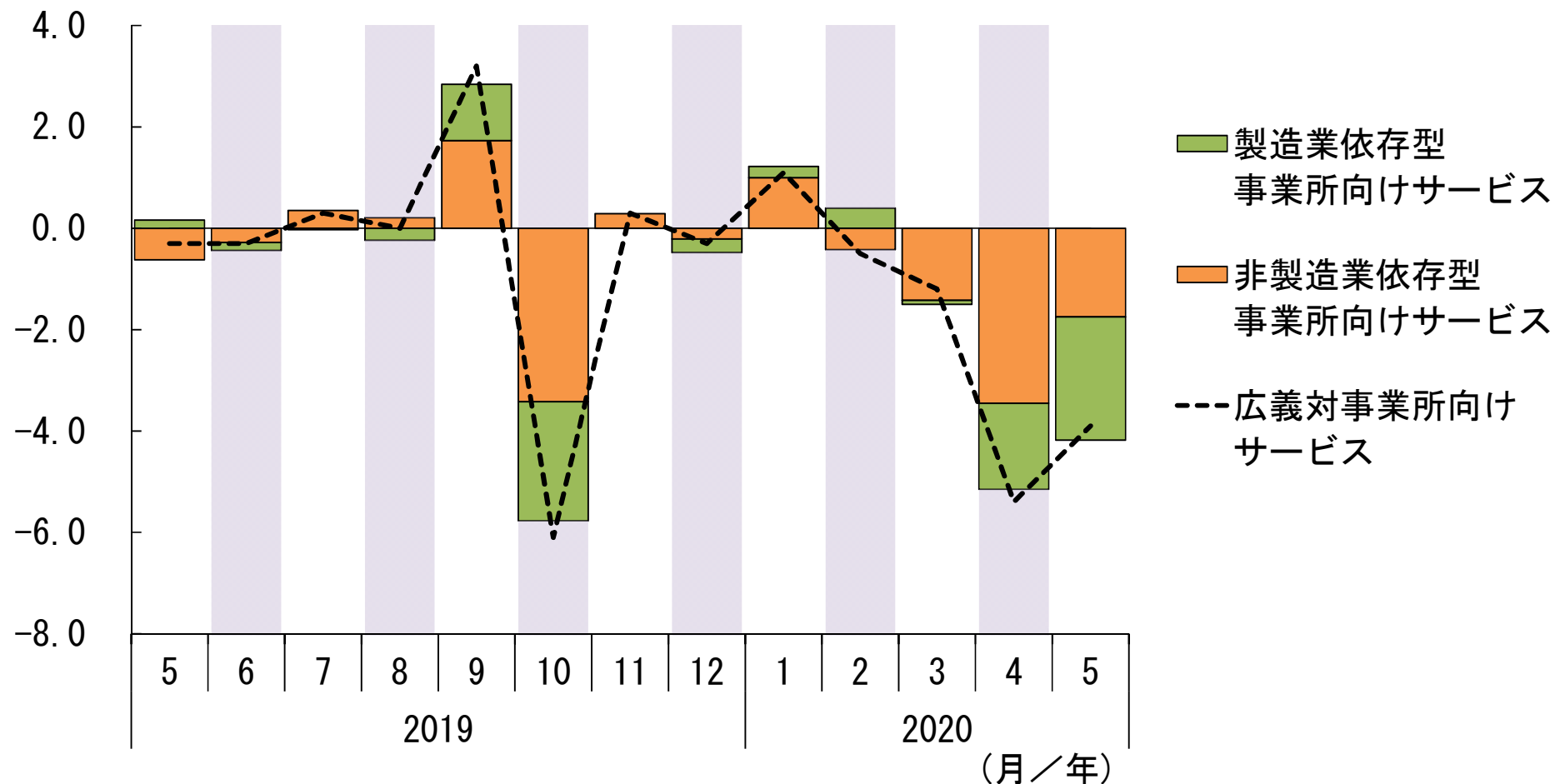


(注) 1. 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。  
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

# 広義対事業所向けサービス活動前月比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2020年5月の広義対事業所サービス活動指数は、前月比-3.9%の低下。製造業依存型事業所向けサービス、非製造業依存型事業所向けサービスともに低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

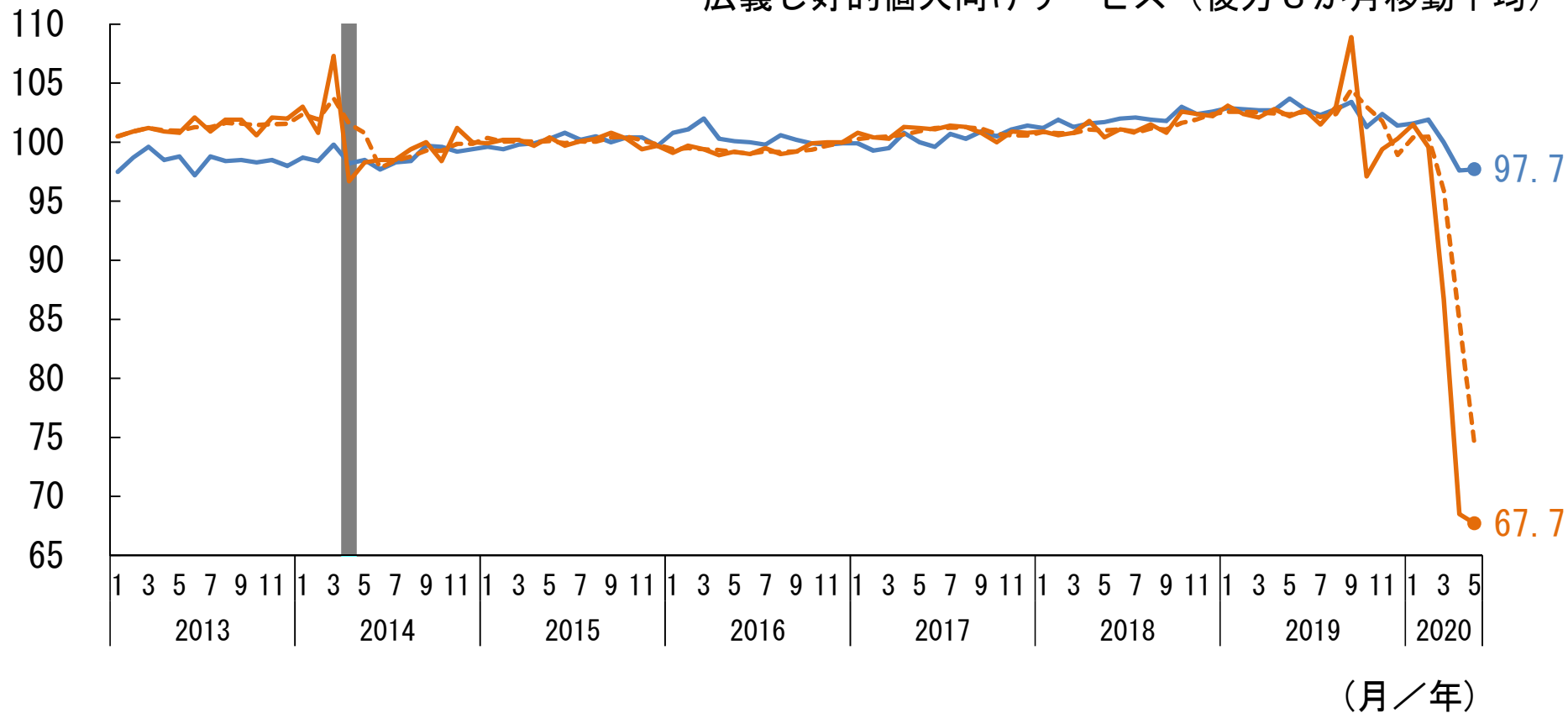


# 非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2020年5月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、97.7(前月比0.1%)と3か月ぶりの上昇。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、67.7(前月比-1.2%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 広義非選択的個人向けサービス  
 — 広義し好的個人向けサービス  
 - - - 広義し好的個人向けサービス (後方3か月移動平均)

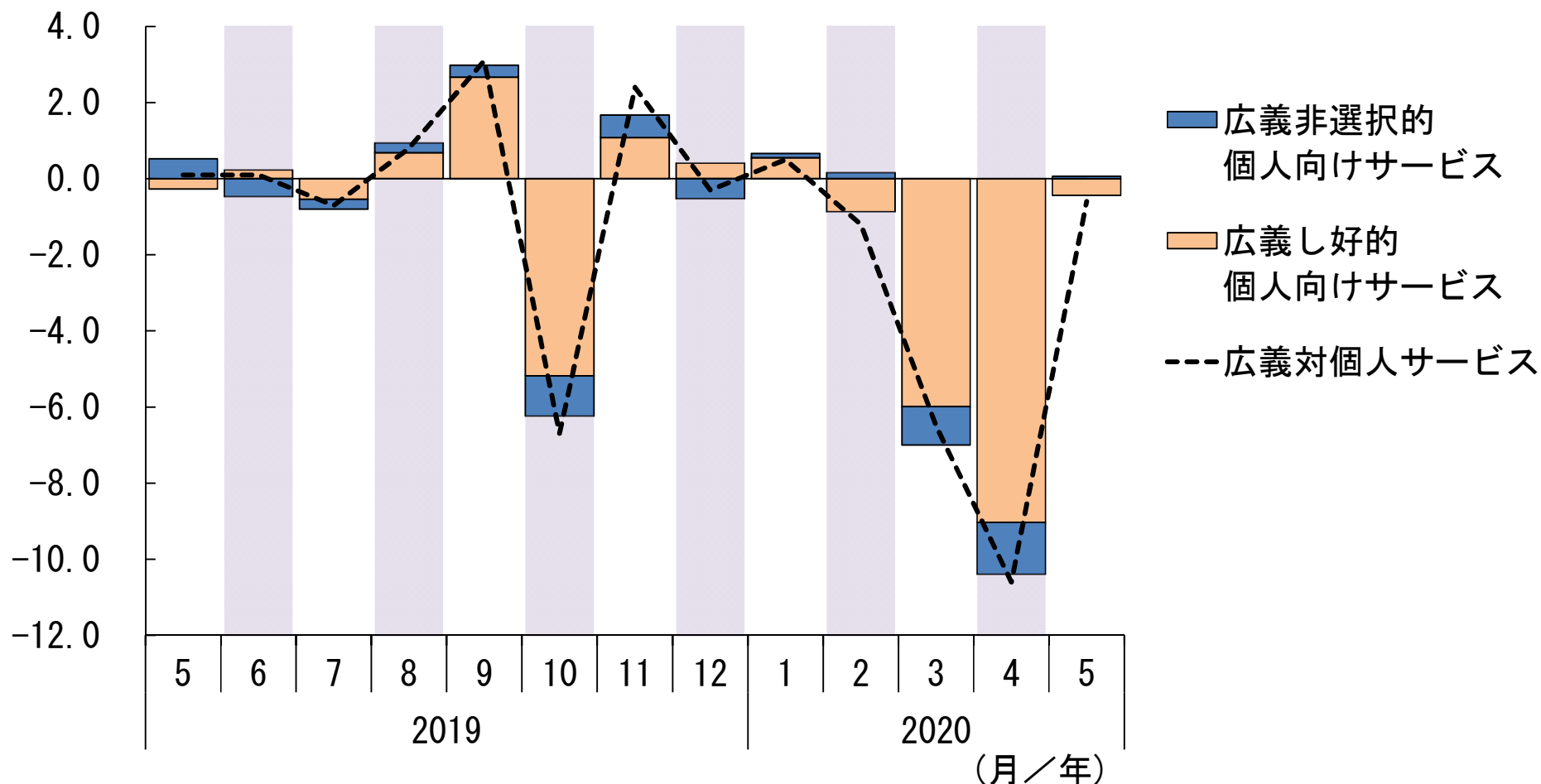


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

# 広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2020年5月の広義対個人サービス活動指数は、前月比-0.6%の低下。広義非選択的個人向けサービスが上昇したものの、広義し好的個人向けサービスが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

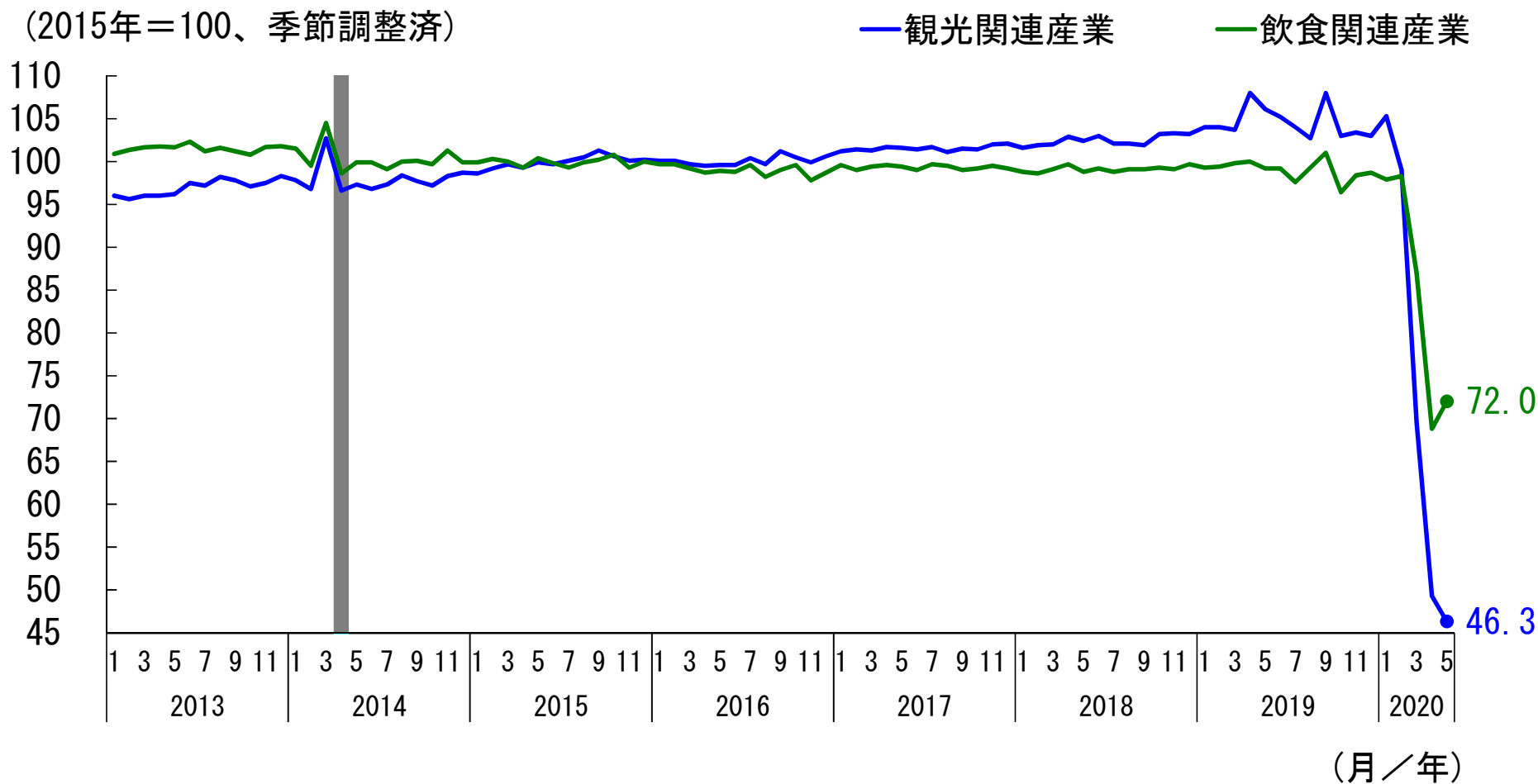
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを <b>低下</b> 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	一般貨物自動車運送業	- 12.8%
	医薬品・化粧品等卸売業	- 14.0%
	電気機械器具卸売業	- 11.3%
	機械修理業	- 24.2%
	受注ソフトウェア	- 7.7%
○ 広義対事業所サービスを <b>上昇</b> 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	廃棄物処理業	7.2%
	職業紹介・労働者派遣業	3.8%
	金融仲介業務	1.2%
	流通業務	4.8%
	農畜産物・水産物卸売業	2.9%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを <b>低下</b> 方向へ 引っ張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	ゲームソフト	- 46.8%
	パチンコホール	- 41.8%
	自動車小売業	- 11.0%
	医薬品・化粧品小売業	- 6.1%
	音楽・芸術等興行	- 26.6%
○ し好的個人向けサービスを <b>上昇</b> 方向へ 引っ張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	織物・衣服・身の回り品小売業	38.9%
	食堂, レストラン, 専門店	20.4%
	美容業	52.6%
	各種商品小売業	14.2%
	その他小売業	3.2%



# 観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・ 2020年5月の観光関連産業活動指数は、46.3(前月比-6.1%)と4か月連続の低下。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、72.0(前月比4.7%)と3か月ぶりの上昇。

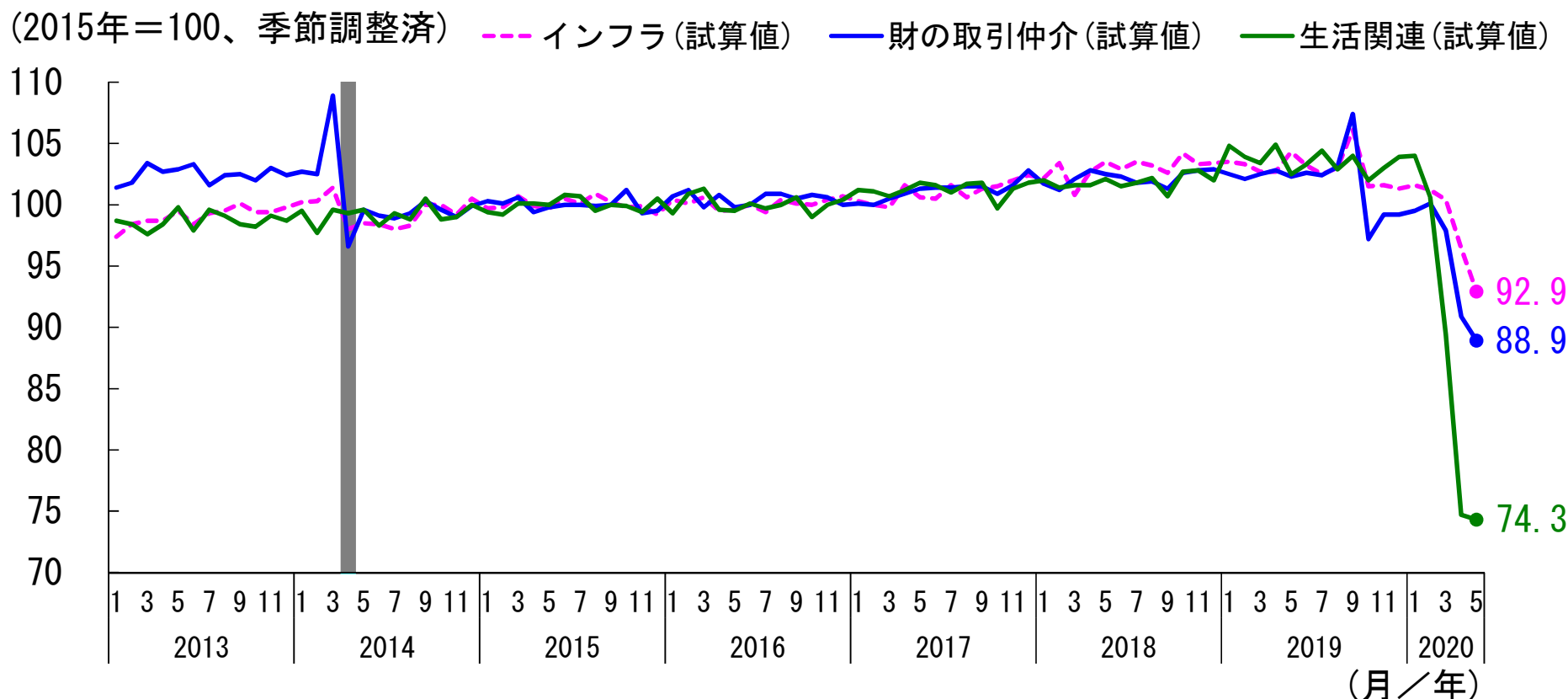


(注) 1. 観光関連産業活動指数は、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。  
 飲食関連産業活動指数は、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる参考値。  
 2. 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。



# 形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・ 2020年5月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、92.9(前月比-3.7%)と4か月連続の低下。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、88.9(前月比-2.2%)と3か月連続の低下。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、74.3(前月比-0.5%)と4か月連続の低下。



(注)1. インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

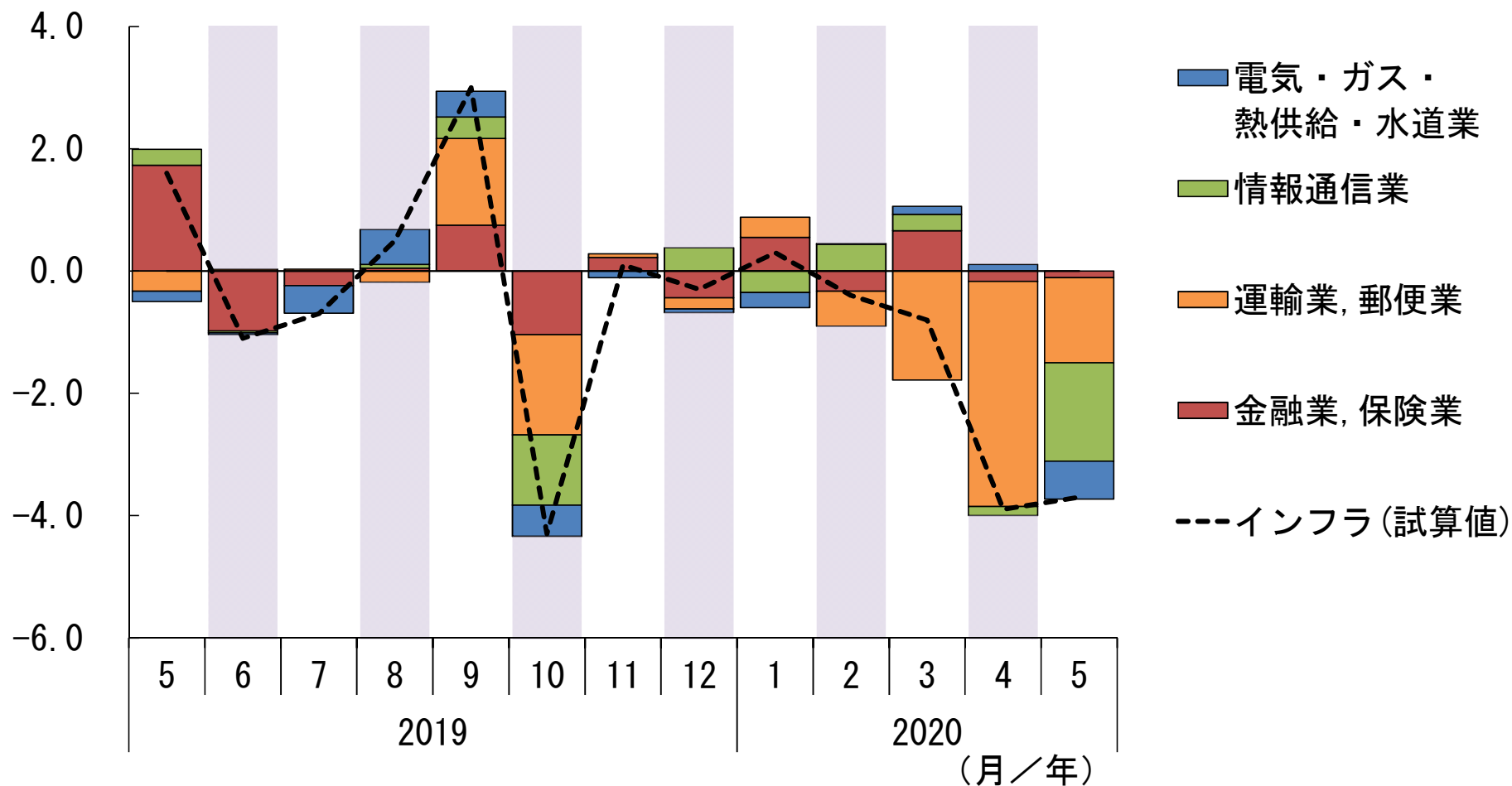
- ・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

2. 灰色のシャドウ部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

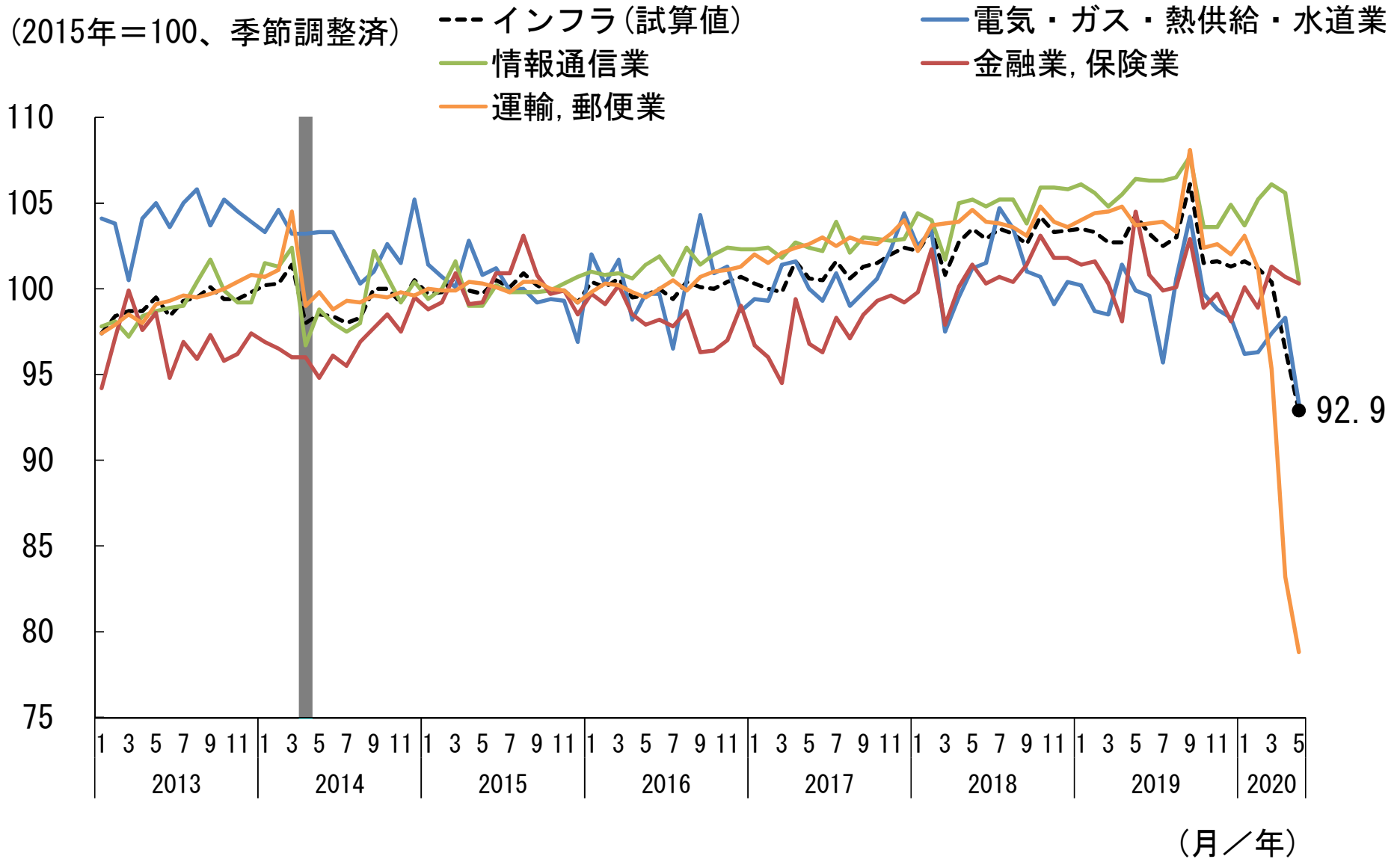
# インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年5月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、情報通信業などが低下したため、前月比-3.7%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 業種別に見たインフラ型サービス活動の動向

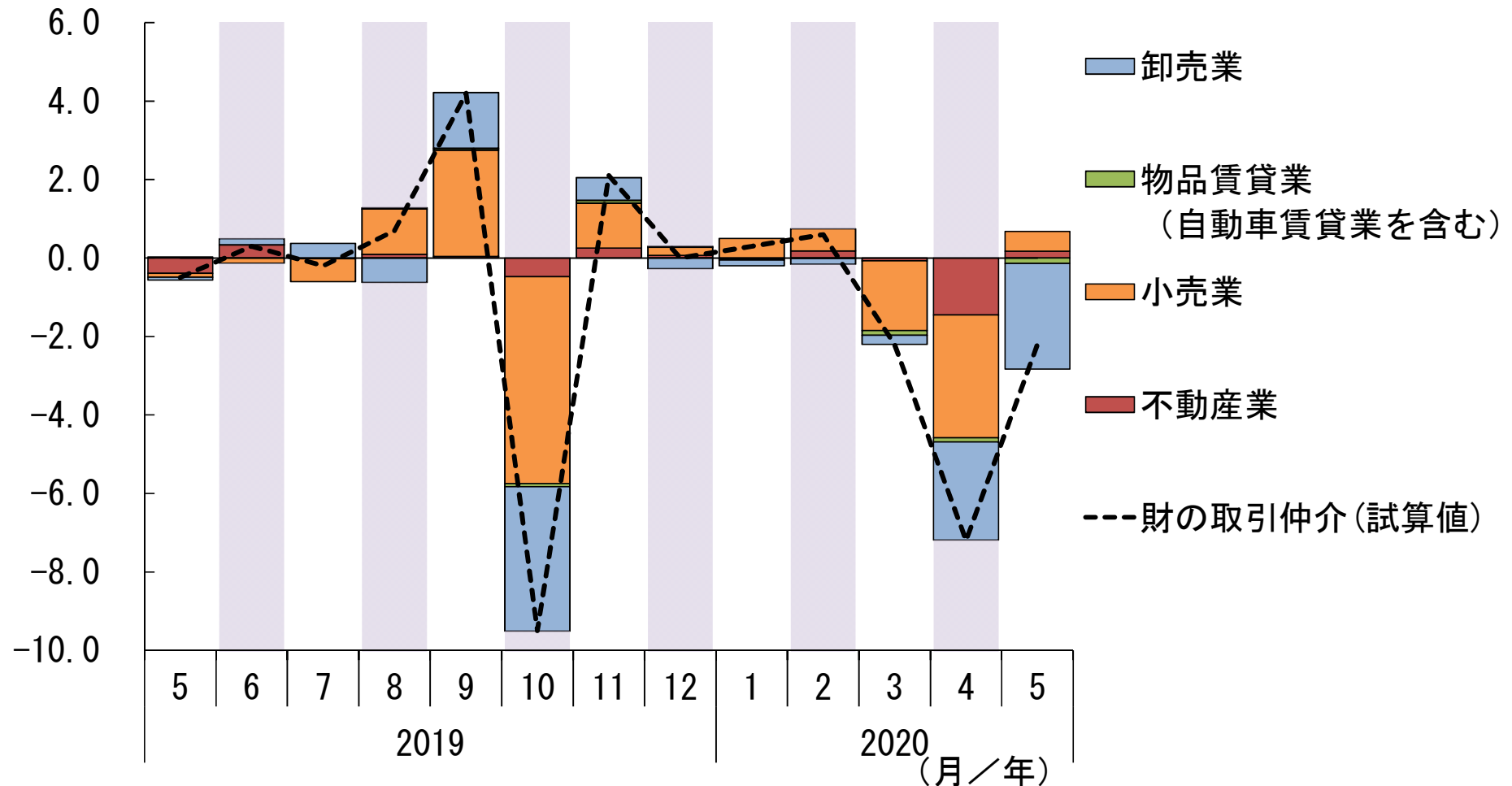


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

# 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年5月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、小売業などが上昇したものの、卸売業などが低下したため、前月比-2.2%の低下。

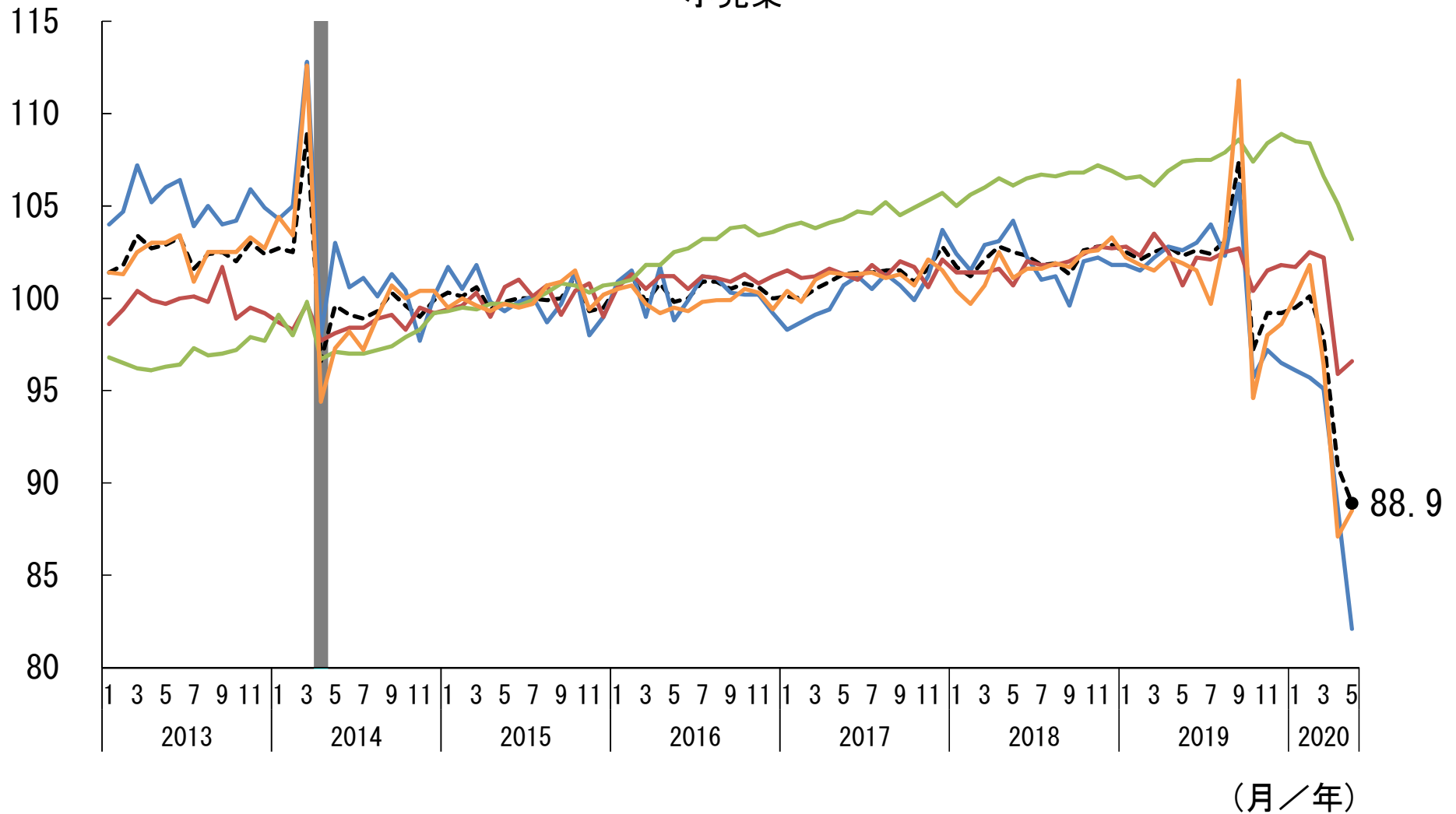
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 財の取引仲介(試算値)    卸売業  
 不動産業    物品賃貸業  
 小売業

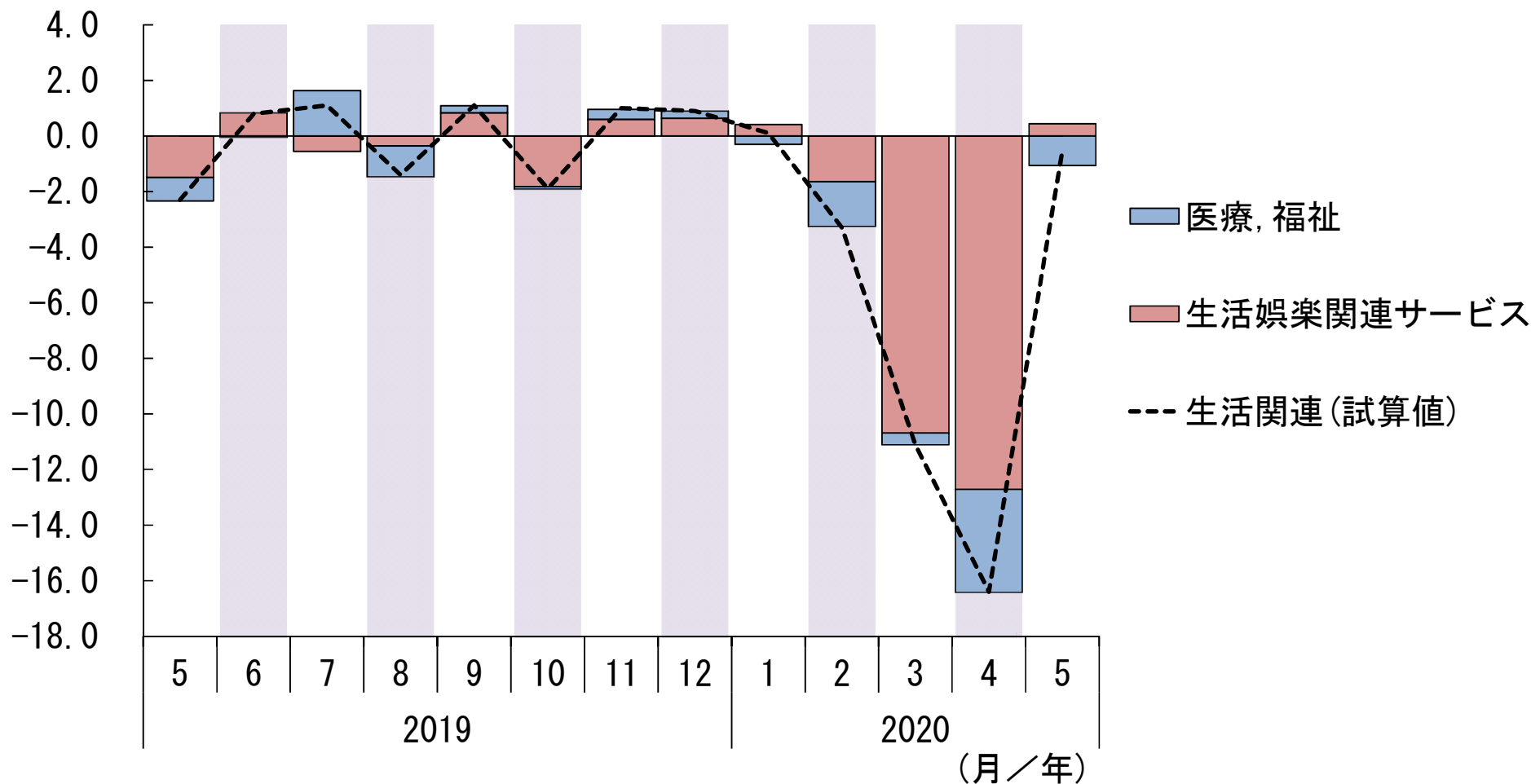


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

# 生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年5月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、前月比-0.5%の低下。生活娯楽関連サービスが上昇したものの、医療、福祉が低下。

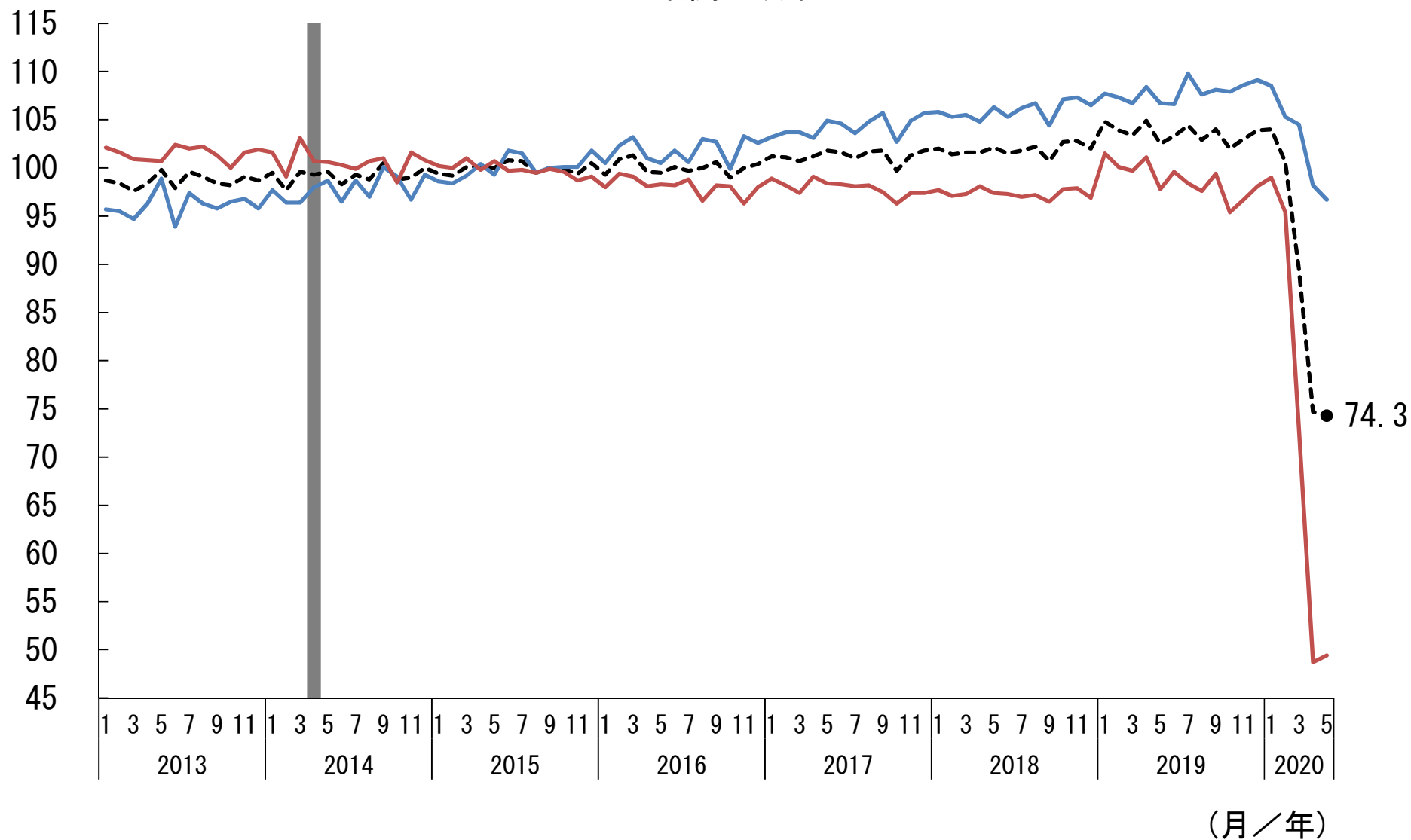
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値)      — 医療, 福祉  
— 生活関連娯楽サービス



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。